

広報

あに

1984

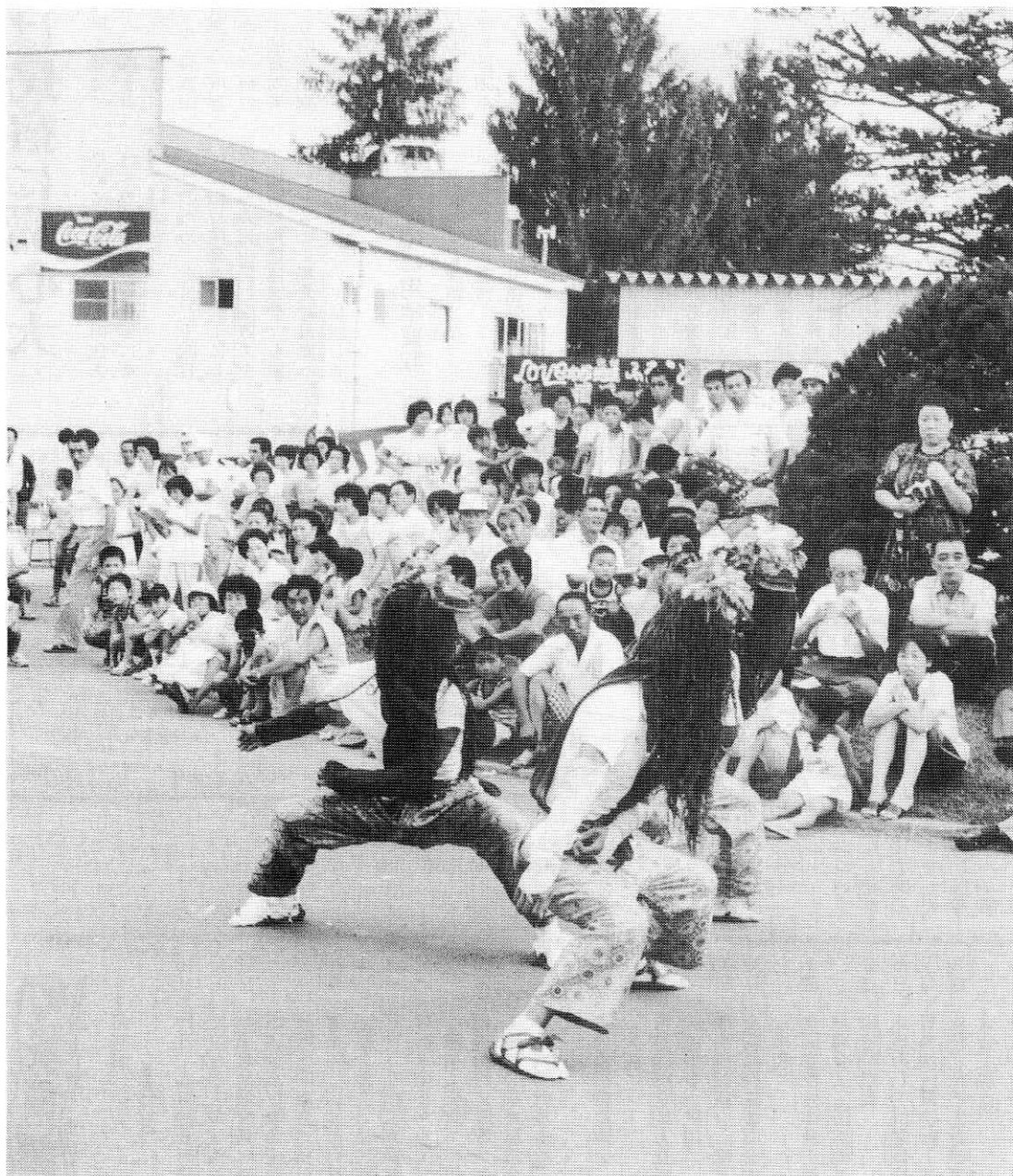
8月

No.264

編集・発行 秋田県阿仁町役場総務課

ふる里の夏祭り

帰省客などで賑わいのピークを迎えた十六日、町は一日中催しが続いた。川下りゴムボート大会には全町の川沿いに人垣が出来、名物阿仁の花火大会では森吉山スキー場と鷹角線の大仕掛け花火に観衆は酔いしれた。その二大イベントの中間に、町商工会が「阿仁の夏祭り」を催した。荒瀬獅子踊り（写真）と根子番衆の妙技は、観客の心にかかる里を一層印象づけてくれた。



〔スキー場〕
アクセス道路

61年オープン時開通

町ぐるみで開発取り組み

＝ 森吉山阿仁国際スキー場
開発推進協議会 ＝



町民は民宿に关心大

昨年七月に、県を通じて正式に発表された、国土計画株式会社(本社・東京、堤義明社長)による森吉山スキー場開発計画は、内容が大規模なことから、町の各分野へもたらす波及効果は計り知れないものが予測されます。

このため、町の活性化をはかる歴史的な一大プロジェクトという認識のもとに、これまで県および国土計画と調整を図りながら計画を

町内の各機関、団体等からの委員多数が出席して開かれた推進協議会

進めて来ましたが、町民あがての取り組みも重要になっています。

このため、七月二十四日に、山村開発センターにおいて「森吉山阿仁国際スキー場開発推進協議会」を開いて、スキー場建設計画への対応策について協議しました。

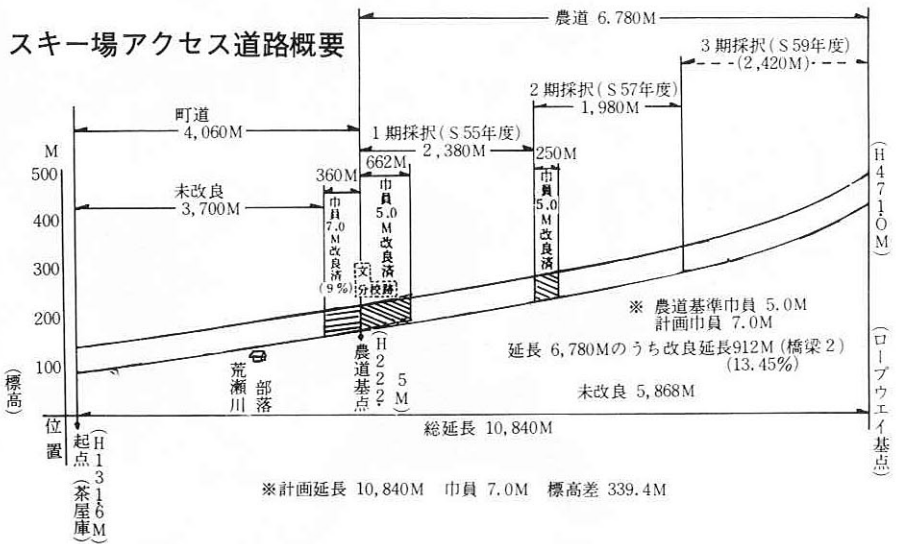
今年度中に用地買収

当面の重要課題となっているアクセス道路については、国道から町道荒瀬川線に入って、ロープウェイの基点となる高津森放牧場までの十・八キロメートルについて、町側から計画の概要を報告しました。

まず、茶屋庫から萱草分校跡までの町道四キロメートルについては、現在、路線測量や認可手続きを進めており、今年度中に用地取得を完了させ、来年度から二か年で県の過疎代行事業で実現できるように陳情しています。

さらに、萱草分校跡から高津森放牧場入口までの六・七キロメートルについては、すでに五十五年度から事業着手されている過疎基幹大阿仁農道事業で対応することとし、改良部分九百八十二メートルを除く五千八

スキー場アクセス道路概要



百六十八メートルについても、六十一年度開通をめざすことにしています。

また、民宿の対応については、国土計画側から具体的な条件や指示事項がなされていないことから、町としても個人投資に関わる問題だけに慎重に対処していますが、早急に環境整備の検討を進めることにしました。

- 7月16日 町長日記
- 8月15日
- 16日 17日 県町村会事務で文部省、厚生省へ
- 18日 秋田県地域交通対策協議会及び鷹角線敷設期成同盟会(秋田)
- 20日 鷹巣阿仁広域市町村圏組合議会(公民館)
- 21日 22日 県商工労働部幹部と柳行グループへ陳情(東京)
- 24日 森吉山阿仁国際スキー場開発推進協議会
- 25日 戸島内基幹農道竣工式
- 26日 自民党移動政調会(大館)
- 27日 角館線特定地方交通線協議会(秋田)
- 30日 衛生施設組合(鷹巣)
- 31日 全国高校総体開会式(雄和)
- 1日 全国高校総体登山競技開会式(沢田湖)
- 2日 臨時町議会
- 6日 広域町村合同懇談会
- 7日 打当地区簡水起工式
- 8日 鹿角北秋田郡身障者大会(森吉)
- 10日 県交通対策室へ
- 11日 米内沢公病正副管理者会議(森吉)
- 14日 比立内獅子踊根子番楽
- 15日 阿仁町成人式

新設の福祉保健課長

に柴田(前)農委局長

町職員の人事異動

町の機構改革に伴って、町職員の人事異動が八月一日付けで行われました。

これまでの福祉課、保健衛生課の二課を統合して新設した福祉保健課の課長には柴田三郎氏(前農業委員

会事務局長)が、課制を廃止して次長制とした教育委員会事務局では、教育次長に佐藤昭春氏(前社会教育課長)が、それぞれ発令になりました。

八月一日付、()は前任福祉保健課長 柴田三郎(農業委員会事務局長) 議会事務局 梅井三千雄(保険衛生課長) 農業委員会事務局 細川

光義(総務課長補佐) 畜産指導センター所長兼務 高堰信男(農林畜産課長) 商工観光課長補佐兼観光開発係長 小林精一(総務課長補佐) 病院事務局長補佐 佐藤克巳(議会事務局長心得) 総務課長補佐兼企画振興係長 戸嶋喬(農林畜産課長補佐) 商工観光課長補佐兼商工係長 伊藤忠雄(阿仁合保係長) 伊藤順子(福祉課長) 伊藤忠雄(阿仁合保係長) 白沢久子(福祉課長) 渡部文子(福祉課長) 辻成子(福祉課長)

衛生課(係長) 福祉保健課 坂本俊雄(農林畜産課林務係長) 建設課水道係長 石田一男(保険衛生課水道係長) 福祉保健課保健衛生係長 佐藤敏郎(保険衛生課保健衛生係長) 衛生係長 魚住憲司(福祉課住民係長) 阿仁合保育所長 坂本菊枝(総務課庶務主任) 福祉保健課福祉係長 山田尚(福祉課福祉主任) 福祉保健課福祉主任 湊信子(福祉課福祉主任) 福祉保健課住民主任 珠井妙安(福祉課) 福祉保健課 白沢久子(福祉課) 大阿仁保育所 高木周子(大阿仁保育所) 藤根ミサ子(大阿仁小学校) 阿仁合保育所 太田カチヨ(阿仁合保育所) 畜産指導センター兼務を解く 山田清安(出納室長) 商工係長兼務を解く 田中茂(商工観光課長) 農林畜産課農政主任 伊東昇一(農林畜産課農務主任) 教育次長 佐藤昭春(社会教育課長) 教育次長補佐兼学務係長 島山喬(学務係長) 教委事務局学務係 金沢静子(阿仁合小学校) 総務課長補佐兼庶務係長 工藤敏雄(総務課庶務係長) 建設課長補佐兼建設係長

保健婦募集

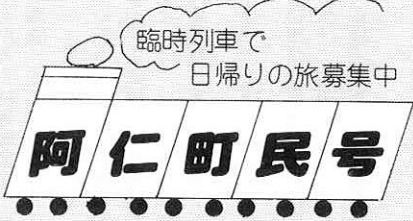
阿仁町では保健婦を次の要領により募集いたします。

(募集要領)

1. 応募資格 25歳までの町内在住者又は町在住予定者(阿仁町に定住を条件とする。)
2. 採用 6カ月間は条件付採用とする。
3. 人員 1名
4. 申込期限 昭和59年9月10日(月)まで役場総務課宛、提出書類をそえて申込み下さい。
5. 提出書類 履歴書、免許証の写又は関係学校卒業証書の写
6. その他 詳細については、町総務課(電話2-2111)まで問合せ下さい。追って、試験日をお知らせします。

- 衛生課 庄司光子(保健衛生課)
- 福祉保健課 加賀谷準夫(保健衛生課)
- 福祉保健課 片山国夫(保健衛生課)
- 農林畜産課 戸嶋哲行(保健衛生課)
- 総務課庶務主任 小林フミ(学務課庶務主任)
- 阿仁合小学校 西岡明美(老人ホーム)
- 老人ホーム 木村唱子(病院)
- 老人ホーム 近藤光子(母子寮)
- 大阿仁小学校 西根民子(大阿仁保育所)
- 大阿仁保育所 高木周子(中村小学校)
- 阿仁合保育所 藤根ミサ子(大阿仁小学校)
- 母子寮 太田カチヨ(阿仁合保育所)
- 畜産指導センター兼務を解く 山田清安(出納室長)
- 商工係長兼務を解く 田中茂(商工観光課長)
- 農林畜産課農政主任 伊東昇一(農林畜産課農務主任)
- 教育次長 佐藤昭春(社会教育課長)
- 教育次長補佐兼学務係長 島山喬(学務係長)
- 教委事務局学務係 金沢静子(阿仁合小学校)
- 総務課長補佐兼庶務係長 工藤敏雄(総務課庶務係長)
- 建設課長補佐兼建設係長

国鉄 くにあいに駅
ひたちない駅
からお知らせ



浅虫水族館の旅

この度、国鉄阿仁合駅、比立内駅の両駅では、町当局のご協力を得て、第一回「阿仁町民号」浅虫水族館の旅」を企画し、会員を募集しております。

期日 九月二十三日(日)

人員 二四〇名

費用 大人一〇、〇〇〇円、小人六、二〇〇円位です。

この町民号での旅から、阿仁町発展につながる有意義な会話の場が広がり、海辺の楽しい一日を過ごしていただけたらと考えます。どうぞ、多数ご参加下さいませようお願いたします。

※詳細については、職員が参加説明いたしますので、ご連絡いただければ幸いです。(阿仁合駅2-2113、比立内駅4-12253)

無料人権相談所

9月26日(水)

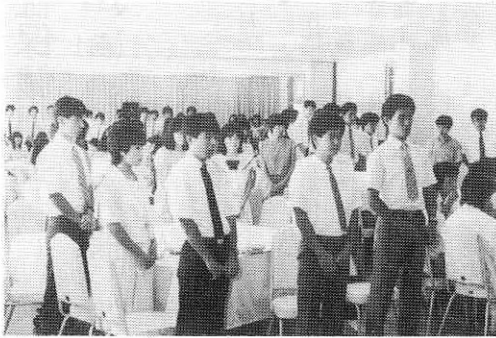
午前10時から午後3時まで

場所 比立内・改善センター

阿仁合保育所主任保母 佐藤エミ(阿仁合保育所) 建設課管理主任 高田道夫(建設課技師)

あ に

大人の仲間入り祝う ふる里の成人式



成人となった若者を祝う、今年度町の成人式が十五日、山村開発センターで行われました。今年の成人対象者は、昭

和三十八年四月二日から三十九年四月一日までに出生した、町内中学校卒業の百五十名で、この日は百二十四名が出席しました。

式典では、町長、教育委員長から式辞、告辞がのべられ、成人者に成人証書と記念品が授与されました。このあと、阿仁合郵便局に勤務している水無の津田秀一郎君が、成人の宣誓をのべ、次いで萱草の武田真紀子さん、上新町の田口一枝君、荒瀬の加賀谷和子さんの地元三名が、壇上から成人の主張を発表しました。会場では、久しぶりの再会を喜び合う光景があちこちに見られ、ふる里の成人式を楽しんでいました。

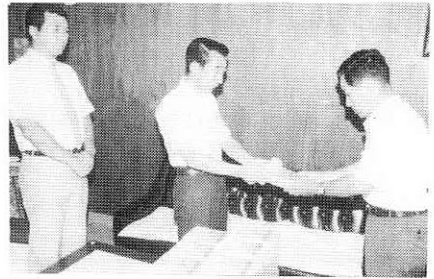
阿仁合小へ図書寄贈

あきぎんチャレンジ会

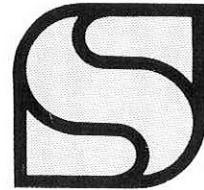
あきぎんチャレンジ会（会長北林昭男、会員八十五名）では十日、阿仁合小学校へ図書（学習漢字辞典）四〇冊を寄贈しました。

あきぎんチャレンジ会は、町内の若手経営者の集いで、五十七年六月、事務局を秋田銀行阿仁合支店に置いて発足しました。毎年十二月の例会には、会員どうしが品物を持ち寄ってオークションを行っており、その売り上げ金で図書の寄贈をしたものです。オークションは今後も続けられていく予定で、順次町内の各小学校へ図書を寄贈する計画とのことです。

北林会長から上杉校長先生へ図書四十冊が渡された



シルバーマークをお勧めします



高齢者ドライバーの交通安全マーク

最近では高齢者ドライバーが増えています。路上では高齢者ドライバーに対する「気くばり」で安全に心がけたいものです。

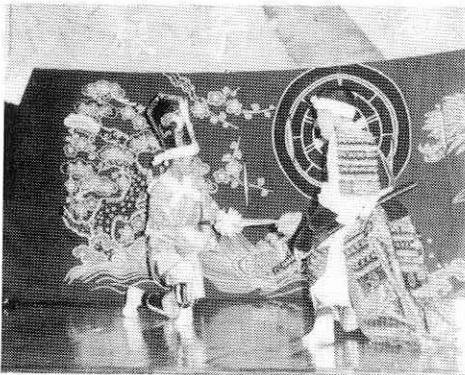
このため、秋田県シルバー会議（社団法人あすの秋田を創る生活運動協会、外で構成）では、高齢者ドライバーも自らをいませしめ、他のドライバーも高齢者ドライバーに思いやりを持つるように、シルバーマーク（高齢者ドライバーマーク）

を作成し、その普及と販売をしています。

この対象は、法的規制は一斉ありませんが、一般的に高齢者を対象にして販売しています。

二枚一組で五百円ですが、販売、お問い合せは、(株)あすの秋田を創る生活運動協会（☎〇一八八(0)二四六九）か秋田県交通安全協会（☎〇一八八(6)三五六七）、または役場内阿仁部交通安全協会阿仁支部へどうぞ。

根子番楽を現地公開 帰省客など多数参観



秋田県無形文化財の指定を受け、全国的に知られている根子番楽が、町教育委

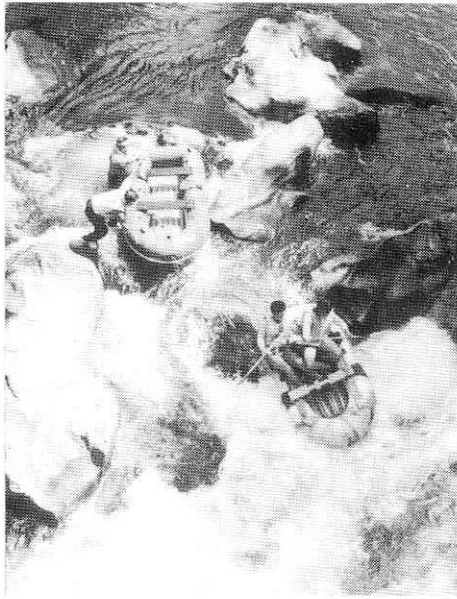
員会と根子番楽保存会の主催で現地公開されました。十四日夜、根子小学校の体育館は町内外からの参観者や取材者、それに帰省客も加わって超満員となりました。

根子番楽の特徴は、歌詞が文学的に優れた内容もっていること、舞の形式が能楽の先駆をなす幸若舞の以前のものであること、二点で、歴史的にも貴重な民俗芸能として保存、継承が求められているゆえんです。

この日は、何年ぶりかで復活を見た「翁舞」など、八種目が演じられ、会場から大きな拍手がわいていました。

第5回 阿仁の川下りゴムボート大会 爽快な水しぶき

清涼とスリルを求めて



〔上〕今年には激流や浅瀬をうまく乗り切った組が上位入賞。
〔下〕8つの関門では納涼を兼ねた応援隊がやんの声援。
〔大平橋下で〕



阿仁川の清流に青春の水しぶき―今年も十六日、町が主催する阿仁の川下りゴムボート大会が行われ、県内外から女性も含めた多数のチャレンジャーが参加して、盛大に行われました。阿仁の風物行事としてすっかり定着したこの大会には、町出身者や県内各地から、冒険精神旺盛な七十七組、百五十四名が参加しました。

山村開発センターで開会式を行ったあと、選手は阿仁合線に乗り込んで、スタート地点の比立内に向かいました。八月に入って連日の真夏日が続いたため、例年に比

賞金十万円は 二ツ井の 沢田さん

べて水位がグンと低く、第二中学校下からスタートして、役場裏の専念寺川原までの変化に富んだ十三キロのコースは、チームワークと技術、体力が一層要求されています。コースの各関門や橋上では、応援隊や帰省客らが多数陣取り、冷たい飲み物を差し入れたりの大声援を送っていました。



〔上〕関門でひと息入れる男女ペア組
〔左〕優勝の沢田さん。

スタートして二時間以上が経過し、ゴールにトップですべり込んだのはゼッケン八十一番の沢田さんで、悪条件にもめげず、昨年の優勝者より十三分遅れの二時間三十五分二十四秒をマークして優勝、賞金の十万円を手中にしました。町内からは二十三チームが参加、入賞が期待されましたが、例年入賞の実力派上杉・柴田の大工さんチームが六位、昨年十一位に甘んじた羽立コンビの両菊地チームが十位に入ったのが最高でした。十位までの成績は、次のとおりです。

優勝〓賞金十万円
沢田春男、二ツ井町 (2・35・24)

準優勝〓賞金五万円
松田正博・安達英樹組、大館市 (2・49・42)

三位〓賞金三万円
中沢正清・柴田英信組、大館市 (2・53・42)

四位〓賞金一万円
長田恒雄・長田武雄組、大館市 (2・56・17)

五位〓賞金一万円
吉田儀弘・浅利喜代富組、田代町 (2・58・52)

六位〓上杉良美・柴田晃組、阿仁町

七位〓斉藤兼良・斉藤優組、上小阿仁村

八位〓碓谷松二・菊地欣一組、鷹巣町

九位〓佐藤圭一・小林俊博組、比内町

十位〓菊地光男・菊地歳実組、阿仁町

なお、特別賞として、男女ペア完走チームに町長賞が、三十位までのチームに株式会社島倉からジョギングパンツが、それぞれ授与されました。



森吉山系に若人の汗

全国高校総体登山競技



涼しいブナ帯野営場好評

女子隊二百二十名 が来町し入山式

全国の高校生スポーツの祭典、インターハイが県内の各市町村を会場に七月三十一日から八月二十日まで行われ、まごころ県民の手で成功の内に終了しました。阿仁町では、登山競技が森吉山系を会場として行われ、一日、大阿仁小学校でB隊(女子隊)の入山式があり、町民とふれあいの場がもうけられました。町内は、町民の手によって花いっぱい歓迎ムードが高まり、二百二十名の若人を待ちうける中、阿仁合小学校の鼓笛隊を先頭に大阿仁小学校児童が全国の都道府県代表四十四校のプラカードを持ち、町内パレ

ードを行いました。大阿仁小学校校庭での入山式では、開催地として町長が歓迎のあいさつをし、米内沢高校の生徒代表が全国の仲間の皆さんの健闘を祈りますと激励しました。

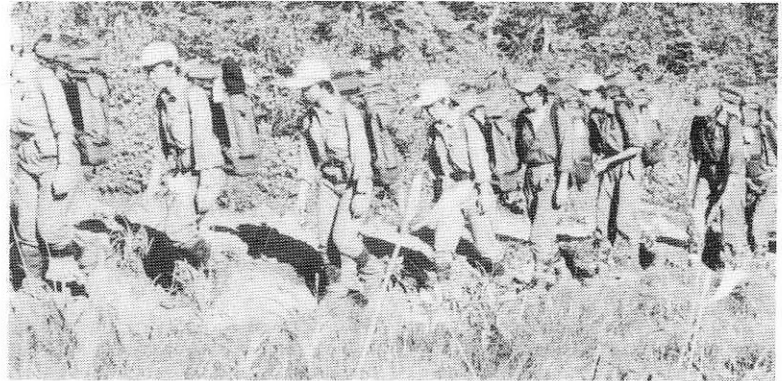
獅子踊りで歓迎

このあと、比立内獅子踊りを披露して町を紹介しましたが、選手達はチビッコの熱演に拍手を送りながら、競技前のひと時を過ごしていました。

競技会場の森吉山ブナ帯野営場は、一日にB隊が、二日にはA隊が募営、涼しい原生林の中で選手は伸び伸びと競技にのぞんでいました。

連日の猛暑の中で四日間競技が続けられましたが、秋田県代表の角館高校が男子団体で、同じく本荘高校が女子団体で最優秀校となり、県民の祝福を受ける中で、幕を閉じました。

小旗がゆれる中、選手の町内パレード(上)



ニッコウキスゲも全国の若人をやさしく歓迎(前岳)

ラジオの気象情報を聞き天気図を書き込む



大阿仁小の子ども達は郷土芸能で歓迎

町の敬老式

9月18日(火)

今年の敬老式は、九月十八日、午前十時三十分から町民体育館で行われます。

お年よりの長寿を祝い、永年社会につくされた功績がたたえられます。

尚、該当者には通知を差し上げますので、出席の有無を返信ハガキに記入の上、九月十日までに
ご報告下さい。

県林業経営コンクールで

福田(豊)さん優秀賞

第十八回秋田県林業経営コンクールにおいて、小様の福田豊蔵さんが枝打ち部の優秀賞に輝き、秋田県森林組合連合会長賞を受賞しました。

福田さんは二十二ヘクタールの山林を所有していますが、今年応募した五ヘクタールは二十年生で、除伐三回、間伐二回を実施しており、根曲り木が極めて少ない杉林です。

枝打ちは現在まで三回実施しており、各々一・五メートルずつ、現在の枝下高は五・五メートル、枝下高率は五十五%です。

枝打ち斧を使用し切口が平滑になるようにしていぬいに枝を打っており、一回、二回目の枝打ち跡は完全に巻き込んでおり、三回目の枝打ちにはハシゴを使用しています。

古河林業の労務班として活躍している福田さんは、林業研修にも熱心で、今回の受賞で更に林業経営に意欲を燃やしています。

施設入所者地域活動推進事業の実施について (お知らせ)

阿仁町養護老人ホーム

阿仁町養護老人ホームでは、本年度から入所者の技能と経験を地域に提供する、いわゆる施設入所者地域活動推進事業を行うことになりましたので、お知らせいたします。

次により実施いたしますので、ご希望の方は当ホームにご連絡願いたいと思います。

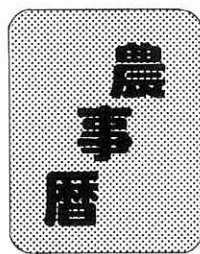
目的 ですが、老人ホーム入所者の技能と経験を地域に提供し、もって社会参加意識と生きがいを高め、健康で明るい生活を送らせることを目的としています。

事業の種類 としては、地域住民の日常生活に密着した簡易で短期的な仕事とします。

実施方法 は、地域住民から就労の依頼があった場合老人ホームでは、入所者の健康状態等を確認し、適任者を就労させます。

事業の種類 の例示としては、民家、旅館、公園等各种施設の庭木の手入れ、畑づくり、除草、冬囲い、封筒のあて名書き、仕立て物等。

以上、概略申し上げましたが、不明の点についてはいつでも老人ホーム宛お問い合わせ下さい。



水 稲

稲作の仕上げは大切に

いよいよ一年間の労が報われて稔る、収穫の季節です。一等米を作るには、絶対手を抜かず、次の事に注意しながら作業を行います。

一、早期落水をさける

最近、機械収穫の普及に伴い、作業能率を向上させるため落水を早める傾向にあります。イネの生理からみれば、大きな損失です。登熟期の水分不足は茎葉養分の穂への転流を妨げ、減収と品質の低下をもたらすので、落水は玄米の発育にあわせて行うようにしましょう。

二、刈取りは適期に

一年間一等米作りの栽培管理が十分でも、収穫、乾燥、調整等の段階でせっかくの努力を水の泡としないよう、最後のツメに全力を傾注しましょう。

刈取り適期は、整粒がほぼ一定になり、胴割米や茶

米などの増加しない時期であり、出穂期後の日数で、早生で四十日、中生で四十五日、中晩で四十五日、五十日を目どとして、出穂後の平均気温の積算温度で一、〇〇〇℃±一〇〇℃の時期にあたります。

なお、積算温度が一、二〇〇℃を越えると、胴割米が急速に増加するので、田圃の見廻りと、温度に注意しながら取り入れを行います。

野 菜

品質の良い野菜は管理から

一、白菜

間引きは八月末か九月初めには(本葉六枚ぐらいい)終らなければなりません。種蒔後三十日〜三十五日ぐらいで外葉の発育が旺盛ですが、この時期にチッソ、カリなどの肥効を高めることにより、外葉が充実して球の肥大が促進されます。(NK化成で良し)。

土寄せは、発芽後三十五日ぐらいいで終らないと、根や葉をいためるので、遅れないよう早目に作業して下さい。

二、大根

間引きは、二〜三葉と五〜六葉期の二回に分けて行い、間引きしだい株元に土

を寄せます。

間引きの都度、できれば液肥でチッソとカリを成分で十アル当り五キロ程度追肥するとよいでしょう。

三、病害虫防除

白菜の軟腐病は、早播きや排水の悪い所等で一層多発します。

まず、キスジノミハムシを防除しながら、普及所、農協の指導を受けて下さい。なお、アオムシ、コナガ、ヨトウムシ等はオルトラン水和剤、またはバブチオの千倍溶液で防除します。

農作業による事故防止

農作業を短時間で終わせようと懸命になり、「労働過重」と「ナレ」から、事故が目立っています。農業機械の取り扱いには、細心の注意を払って下さい。

次の事を守りましょう。
一、農作業前に必ず機械の点検を。

二、運転中は、子どもを乗せない近寄らせない。
三、運転中の故障修理はエンジンを必ず止めてから。

四、移動には、必ず前後左右を確認してから発進を。

